

今日のキーワード 『ブラジル大統領選挙』は極右と左派の決選投票へ

現職のテメル大統領の任期満了に伴う『ブラジル大統領選挙』が10月7日に行われました。投開票の結果、当選に必要な過半数を獲得する候補者がいなかったため、上位の2人が28日の決選投票に進出することになりました。事前の世論調査の予想通り、極右で元軍人のボルソナロ下院議員と左派のアダジ元サンパウロ市長による左右候補の決選投票が決まりました。市場はボルソナロ氏のリードを好感しました。

ポイント1

ボルソナロ氏がトップ、アダジ氏が2位 ボルソナロ氏は世論調査を大きく上回る得票率

- 『ブラジル大統領選挙』が10月7日に実施され、即日開票されました。選挙には13人の候補が立候補しました。選挙管理当局の発表によると、得票率は極右のボルソナロ氏が46%で1位、左派のアダジ氏が29%で2位となり、左右候補が28日の決選投票に進むことが決定しました。ボルソナロ氏の得票率は事前の世論調査を大きく上回りました。
- 「ブラジルのトランプ氏」といわれる極右のボルソナロ氏は、国民が銃を所持することや女性などへの差別発言を繰り返す一方、汚職疑惑がないことや、貧困層への援助停止、治安改善などを訴えたことが、中間層や富裕層中心に既存政党に失望した有権者の支持を集めたとみられます。
- 左派候補である労働党のアダジ氏は、汚職で収監されているルラ元大統領の後継候補です。出馬を断念したルラ氏の人気にあやかり、低所得層の支援拡大を訴えています。

ポイント2

市場はボルソナロ氏に好意的 アダジ氏の勝利を警戒

- 市場は、ボルソナロ氏に好意的です。ボルソナロ氏は政権を獲得した後の財務相として、財政収支の赤字削減や国営企業の民営化などによる構造改革を主張する経済学者のパウロ・ゲジス氏を指名しており、小さな政府を目指しているとみられるからです。
- 一方、市場はアダジ氏の勝利を警戒しています。同氏は支持層の低所得世帯に配慮し、年金改革など財政支出の抑制には積極的でないため、財政規律が緩む恐れが強いです。

アダジ氏・左派
元サンパウロ市長
ルラ元大統領後継

ボルソナロ氏・極右
元軍人
ブラジルのトランプ氏



今後の展開

決選投票に向け3位以下の候補者の票取り込みが焦点

- 『ブラジル大統領選挙』の結果を受けた8日の市場では、ボルソナロ氏が事前の予想を超えて得票率を伸ばしたことが好感されました。為替市場では、ブラジルレアルが対米ドルで上昇しました。また、株式市場では、主要株価指数のボエスバが大幅高となりました。
- 最新の世論調査では、決選投票においてボルソナロ氏の優勢が伝えられています。今後は決選投票に向けて、両陣営が3位以下の候補者の票をいかに取り込むかが焦点となります。

ここも チェック!

2018年9月20日 ブラジルの金融政策は現状維持（2018年9月）

2018年8月23日 ブラジル経済はストライキによる減速から回復へ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。